

移行を支援する「小学校入学前サポートシート」の有用性の検討

—A 市認定こども園の保育者の視点から—

梶井正紀

（茨城女子短期大学 東北大学大学院教育学研究科博士後期課程）

KEY WORDS: 保育者 小学校入学前サポートシート

（目的）

移行期（幼児期から小学校入学期）に育つ力の認識の研究として、一前（2016）は、保護者と保育者・小学校教師の認識の間に違いがあることを考察した。また、佐藤（2013）は、保護者、保育者、教師の特別な支援を必要とする子どもを見る視点について調査し、それぞれが異なる見方をしていたことを明らかにした。そのため、就学前機関による支援の情報を就学先の学校に引き継ぐものとして、就学支援シートが存在が期待されている（東京都 2007）。しかし、白取（2018）の実態調査によれば保育士の負担感が指摘されている。また、就学支援シートに関する研究は、久原ら（2013）、河口（2013）、河口（2015）などがあるが、障害のある子に限定されたシートの在り方を検討する内容であった。しかし、近年、多様な子どものニーズに対応し、すべての保護者と子どもの実態を引き継ぐことができる連携システムが必要とされる。そこで梶井（2020）は、障害のある子に限定しない全ての保護者（子ども）を対象とした「小学校入学前サポートシート」（保護者記入用；第 5 版）を作成した。本調査では、現在活用されている A 市認定こども園モデル（第 5 版を一部改訂して活用）の保育者に対し、本シートのニーズを明らかにすることを目的に調査を実施した。

なお、A 市認定こども園は、独自の活用モデルとして、保護者に対し、2 回（①2020 年 12 月と②2021 年 3 月）説明・配付し、回収した。その際、リーフレット（小学校入学前サポートシートを活用するために「すべての子どもの得意なことを見つけ、伸ばすことができる環境を用意するため」（梶井 2020）。とする説明を加え、インクルーシブな視点を取り入れて提示した。

（方法）

A 市認定こども園の対象保育者（園長含む）16 名中、15 名（男子 2 名、女性 13 名）の回答を得た。20XX 年 5 月 Microsoft Forms による質問紙調査を実施した。質問紙の内容については事前に本研究で使用する旨を文書において伝達し、承諾を得た。

＜質問紙調査項目＞

- ①小学校入学前サポートシートは移行期にどのくらい重要であるとお考えですか。（見たことがない保育者は除く）
 - ②実際に活用し、回収したことについてどうでしたか。（負担度）
 - ③サポートシートを移行期に回収し、移行期の連絡協議会でご活用された感想をお願いします。（年長担任の保育者）
 - ④連絡協議会において、保育者が丁寧に引き継ぎたいと考える情報は何か。（園の全保育者：複数回答可）
- * 質問①は 6 件法にて作成、質問④は 7 項目より回答

（結果）

＜設問①＞ 保育者 8 名が回答

- ・かなり重要である 5 名、まあまあ重要である 3 名

＜設問②＞ シートを活用した年長担任 3 名が回答

- ・まったく負担ではない 2 名、あまり負担ではない 1 名

＜設問③＞ 年長担任 3 名中 2 名が回答（主要な箇所を抜粋）

- ・年長児（8 名）の保護者と保育者の異なる視点を把握できた。

- ・2 回（12 月と 3 月）に分けてサポートシートを回収したため保護者の不安や子どもの苦手さを把握できた。（1 回目より 2 回目の方が項目記述量は多かった）
- ・配慮を要する子の保護者は、「できていないこと」を「できている」と回答する傾向にある。要録では伝達不可能な情報を連絡協議会で小学校に丁寧に伝達することができた。

＜設問④＞全保育者 15 名が回答（複数回答可）

①家庭での日常的な様子と変化（保護者の視点）	4 名
②園での日常的な様子と変化（保育者の視点）	8 名
③配慮を要する子の発達支援に関わる情報	10 名
④要録に記してある情報の概要・詳細など	3 名
⑤外部の専門家の助言など	1 名
⑥その他	0 名
⑦分からない	5 名

（考察）

設問①・②は見たことがある保育者と活用したことのある保育者の回答である。いずれも重要であるとし、負担ではないと回答した。設問③では、保護者と保育者の子どもの実態を捉える異なる視点を把握でき、配慮を要する子の保護者の実態を捉え、小学校へ伝達することが可能であることが示された。連絡協議会では、設問④にあるように配慮を要する子の発達支援に関わる情報や園での日常生活の様子と変化（多様性）を丁寧に引継ぎたいとする保育者の意向が明らかにされた。配慮を要する子をもつ保護者と向き合うには、保護者と保育者が把握する子どもの実態（異なる視点）を小学校教諭の参加する連絡協議会で確認していくことが重要であると考えられる。今後は、A 認定こども園から本シートの引継ぎを受けた小学校教諭に対してニーズ調査を実施していく。また、他市町村で本シートを活用したことのある保護者や保育者、小学校教諭に対しても調査を進めていくこととする。

（参考資料等）

- 一前春子「保幼小連携研究の動向：取り組みの効果と移行期に育つ力の認識」共立女子短期大学文科紀要（59）、2016 年
- 佐藤智恵「特別な支援が必要な子どもの保育所から小学校への移行に関する研究 - 子ども、保護者、保育者・小学校教諭の 3 者の語りの質的分析より -」保育学研究 51(3)、2013 年
- 久原有貴他「発達に課題のある幼児の就学支援シート作りに関する実証的研究-就学支援シート作りに関する実証的研究-」広島大学研究紀要第 41 号、2013 年
- 河口麻希「特別なニーズのある幼児の保幼小接続に関する研究:就学支援シートの作成過程を通して（特別支援教育）」中国四国教育学会教育学研究紀要 59(2)、2013 年
- 河口麻希『就学支援シート』を用いた特別なニーズのある幼児の移行支援-移行の時期に着目して- 保育学研究 53 巻第 2 号、2015 年
- 東京都教育庁学務部義務養育特別支援教育課「特別支援教育通信第 1 号」、P3 ホームページ http://www.shugaku.metro.tokyo.jp/File/rikaikaihatsu/tuushin_1.pdf より抜粋（2021 年 5 月 1 日確認）
- 白取真実「特別な支援を必要とする子どもの就学に関する研究 - 東京都保育所における『就学支援シート』の取り組みに関する質問紙調査より -」貞静学園短期大学研究紀要（第 9 号）、2018 年
- 梶井正紀『移行期』における保・幼・小連携に関する調査とその結果：「小学校入学前サポートシート」作成のために」茨城女子短期大学紀要、2020 年